

価値創造のあゆみ

昭和産業グループは、創業以来「食」を通じて様々な社会的課題の解決に貢献しながら、事業を拡大してきました。創業当時から時代に合わせて変化し、これからも穀物をプラットフォームとする幅広い事業を通じて人々の健康と未来に貢献する、持続的成長力のある企業を目指します。

年代	創業期（1936年～）	1960年～1980年代	1990年～2000年代	2010年～
時代背景	深刻な食糧不足	需要拡大と食生活の多様化	「食」ニーズの高度化	ライフスタイル・価値観の変化
昭和産業グループが創出した価値	農産加工分野で一貫体制を構築し、農業の発展に貢献 農業における土づくりから製品加工、販売までの一貫体制を目指して小麦粉や食用油、水あめ、肥料などの製造販売を開始。日本の農業発展を支えるとともに戦後食糧難の解消にも貢献しました。	食品コンビニートの建設による、多品種安定供給の実現 高度経済成長期に入り食生活が多様化するなか、海外からの穀物の輸入量増大を予測し、全ての工場を臨海部に集約しました。生産設備やサイロを拡充し、多品種大量生産のコスト課題を解決しながら、業務用商品のみならず、様々な家庭用商品を発売するなど新たな需要への対応を実現しました。	幅広い分野で商品開発を強化し、時代にマッチした商品を提供 「食」ニーズの高度化が進み、求められる原材料の性質や製品の種類も幅広くなったなか、様々な穀物における商品開発の強化、加工技術の進化、そしてレシピの提案などにも力を入れました。機能性とおいしさを兼ね備えた商品や健康志向にマッチする商品など、お客様に喜ばれる商品を続々と開発しました。	“穀物ソリューション・カンパニー”として独自の付加価値を創出 「食」に関する消費スタイルは、さらに高度かつ多様なものとなり、消費者の健康志向など時代のニーズに合わせた商品開発が求められています。また、2020年から広がり始めた新型コロナウイルス感染症により人々の生活様式は一変しました。外食を避け巣ごもり需要が増加し、自宅での調理やテイクアウトが増えたことから、簡便な食品や時間がたってもおいしい食品の商品開発が求められています。
商品のあゆみ	 1956年 『結晶ぶどう糖』発売  1957年 『昭和のホットケーキの素』発売  1961年 『昭和即席天ぷら粉』国内発売  1969年 大豆たん白食品 『昭和フレッシュ』発売  1983年 高級天ぷら粉 『天ぷら粉黄金』発売  1984年 炊飯用はい芽油カプセル 『お釜にポン』発売  1992年 『お肉をやわらかくするから揚げ粉』発売  1994年 特定保健用食品 『オリゴタイム』発売  2000年 高オレイン酸 ひまわり油 『オレインリッチ』発売  2005年 『ケーキのようなホットケーキミックス』発売  2011年 『レンジでチンするから揚げ粉』発売  2020年 『健康こめ油』発売  2021年 『もう包まない！混ぜ餃子の素』発売  2021年 『まんまるおおきなホットケーキのもと』発売  2022年 『もう揚げない!! 焼き天ぷらの素』発売			

